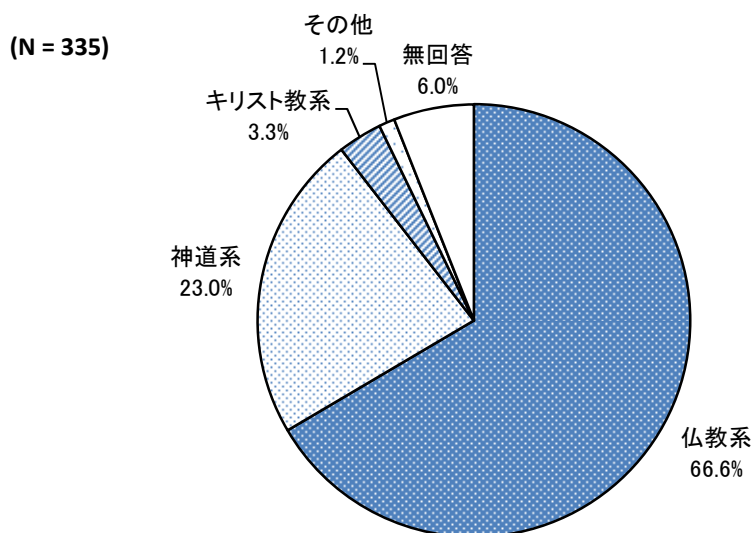


第3章 宗教法人等アンケート調査 調査結果

3-1 団体について

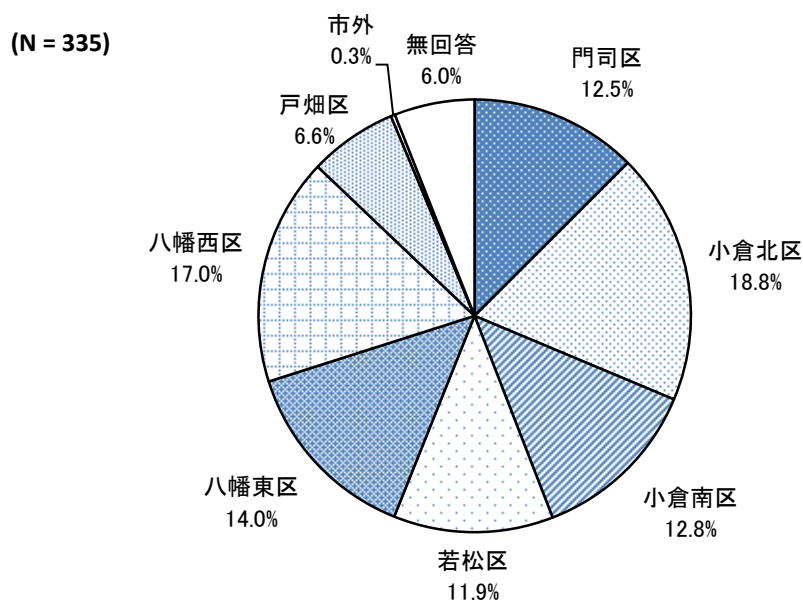
問1. 貴団体は次のどれにあてはまりますか。(○はひとつだけ)

「仏教系」が66.6%と最も高く、次いで「神道系」が23.0%、「キリスト教系」が3.3%となっている。



問2. 貴団体は何区にありますか。(○はひとつだけ)

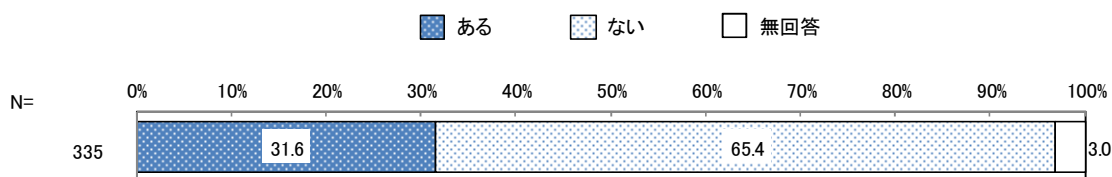
「小倉北区」が18.8%と最も高く、次いで「八幡西区」が17.0%、「八幡東区」が14.0%となっている。



3-2 墓地(霊園)について

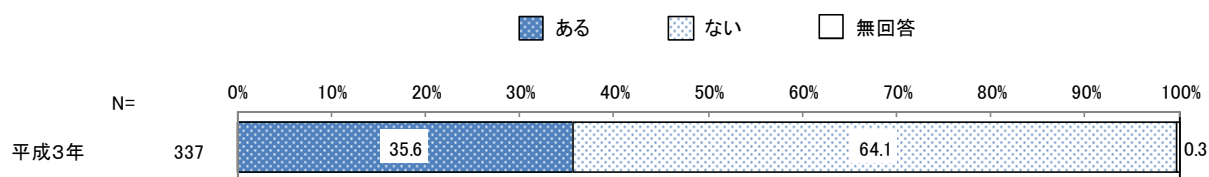
問3. 北九州市内に貴団体所有の墓地(霊園を含む)はありますか。(〇はひとつだけ)

「ない」が65.4%、「ある」が31.6%となっている。



【参考:過去の調査結果】

平成3年に行った調査結果では、「ない」が64.1%、「ある」が35.6%となっている。



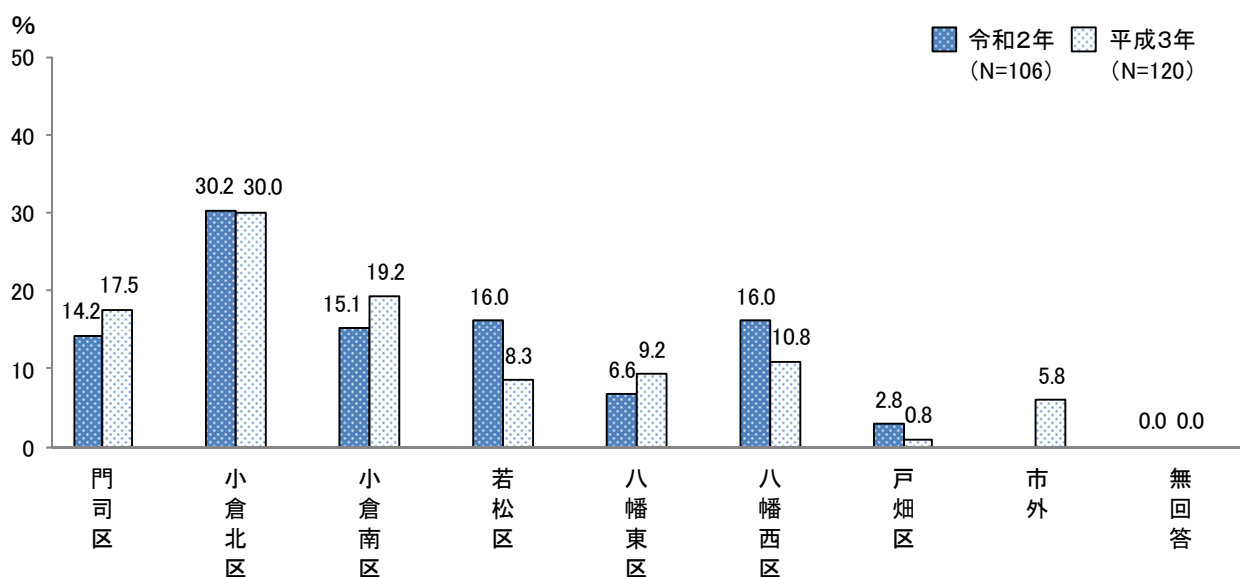
※平成3年調査では、市内・市外を問わず所有墓地の有無をたずねている。

ここからは、問3で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問3-1. その墓地はどこにありますか。(複数ある場合は、該当するものすべてに〇をつけてください。)

「小倉北区」が30.2%と最も高く、次いで「若松区」及び「八幡西区」が16.0%となっている。

平成3年の調査結果と比較すると、「若松区」が7.7ポイント、「八幡西区」が5.2ポイント増加している。一方で、「小倉南区」が4.1ポイント減少している。

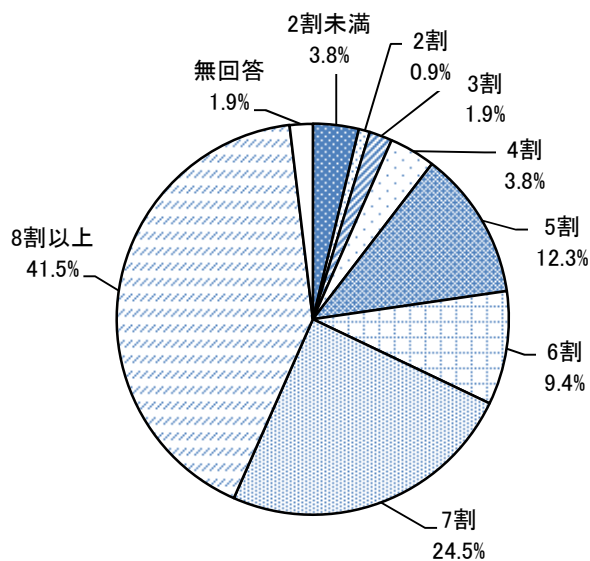


※令和2年調査では市内に墓地を所有する団体を対象としているため「市外」はなし。

問3-2. その墓地の利用者のうち、北九州市内の居住者はどのくらいの割合ですか。(〇はひとつだけ)

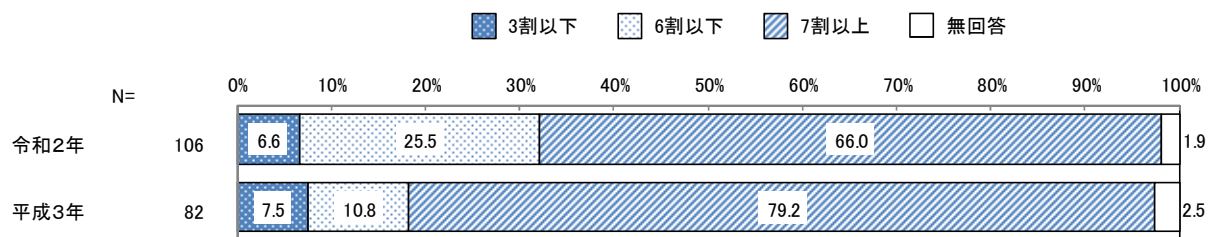
「8割以上」が41.5%と最も高く、次いで「7割」が24.5%、「5割」が12.3%となっている。

(N = 106)



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「6割以下」が14.7ポイント増加した一方で、「7割以上」が13.2ポイント減少している。

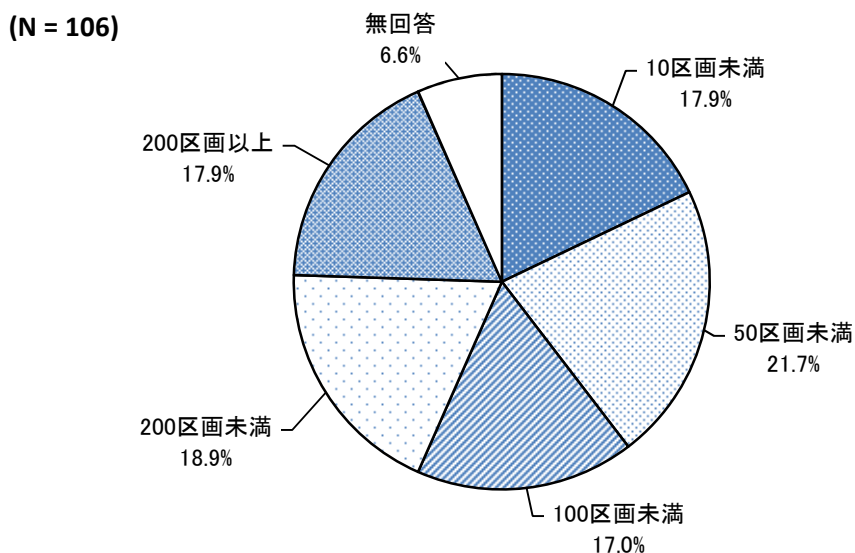


問3-3. 墓地は全部で何区画ありますか。

※区画とは、永代使用を認めた個々の区域をいいますが、その区域がはっきりしない場合は、一つの墓碑を1区画とみなしてください。

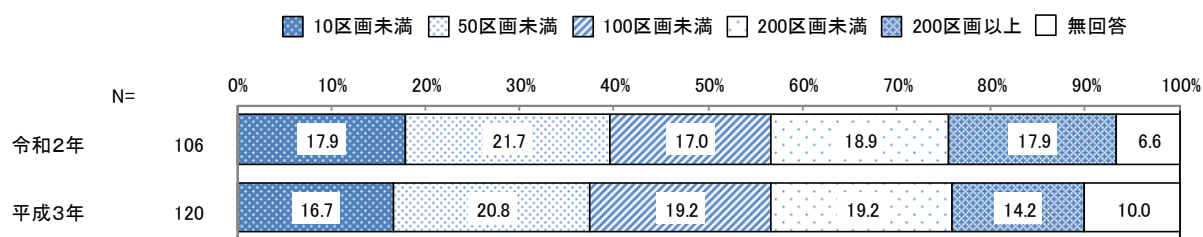
「50区画未満」が21.7%と最も高く、次いで「200区画未満」が18.9%、「10区画未満」及び「200区画以上」が17.9%となっている。

[回答を得られた法人の所有する区画合計数は28,853区画]



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「200区画以上」が3.7ポイント増加している。



問3-3-1. 墓地の区画のうち、次のものはそれぞれ何区画ありますか。

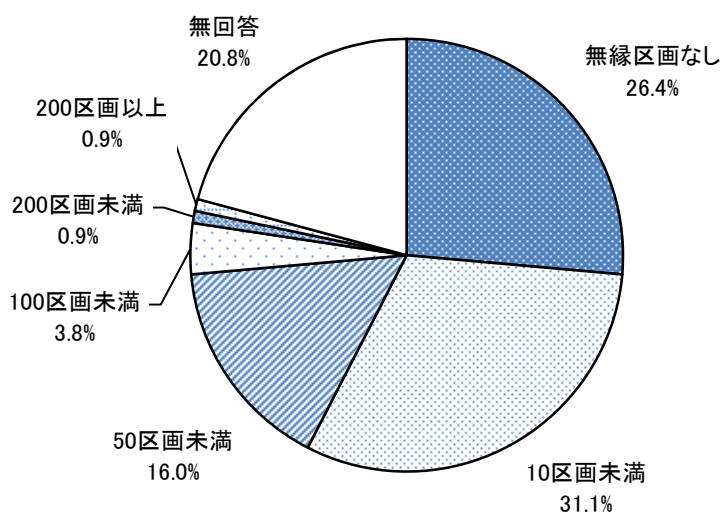
- ・無縁と推定されるもの
- ・未使用のもの

【無縁と推定されるもの】

無縁と推定される区画数は「10区画未満」が31.1%と最も高く、次いで「無縁区画なし」が26.4%、「50区画未満」が16.0%となっている。

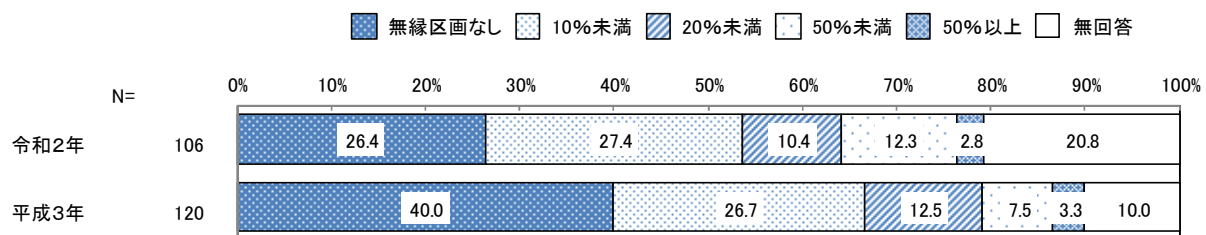
〔回答を得られた法人の無縁化墓地の区画合計数は1,093区画〕

(N = 106)



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「無縁区画なし」は13.6ポイント減少している。

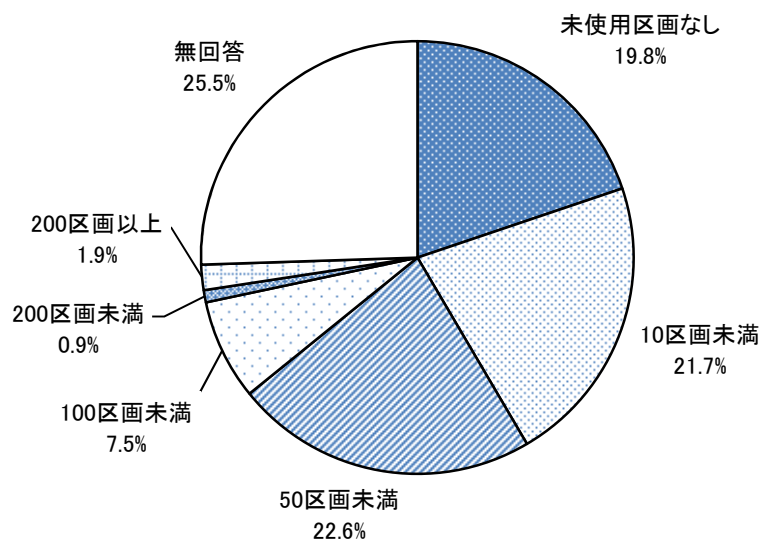


【未使用のもの】

未使用区画数は「50区画未満」が22.6%と最も高く、次いで「10区画未満」が21.7%、「未使用区画なし」が19.8%となっている。

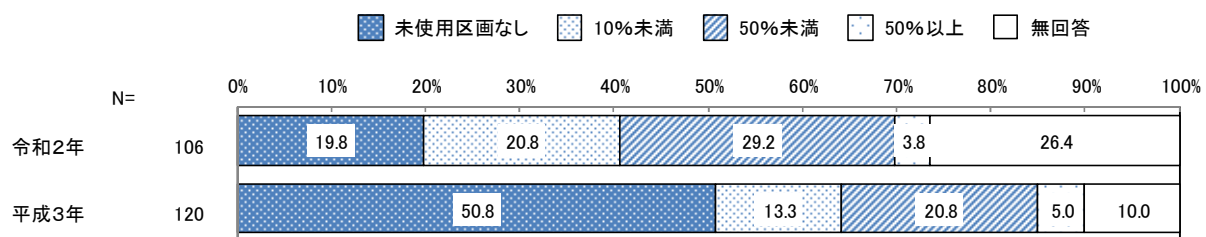
〔回答を得られた法人の未使用基地の区画合計数は2,242区画〕

(N = 106)



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「50%未満」は8.4ポイント、「10%未満」は7.5ポイント増加している。一方で「未使用区画なし」は31.0ポイント減少し、大きく下げている。

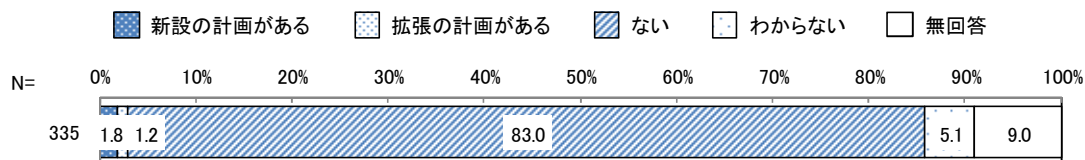


全員の方におたずねします。

問4. 北九州市内に墓地を新しく建設または拡張する計画はありますか。(○はひとつだけ)

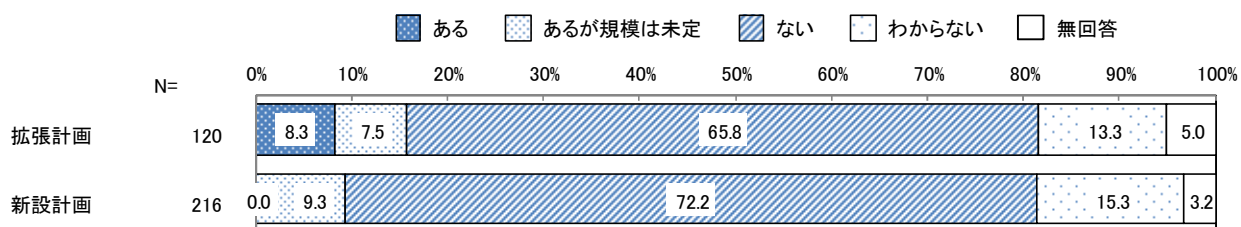
※「ある」場合は区画数を、「ある」が規模が未定の場合は「未定」と()内に記入してください。

「ない」が83.0%と最も高く、「新設の計画がある」が1.8%、「拡張の計画がある」が1.2%となっている。



【参考:過去の調査結果】

平成3年の調査結果では、墓地の拡張計画、新設計画ともに「ない」が最も高く、6割から7割程度を占めている。拡張計画については「ある」が8.3%となっている。

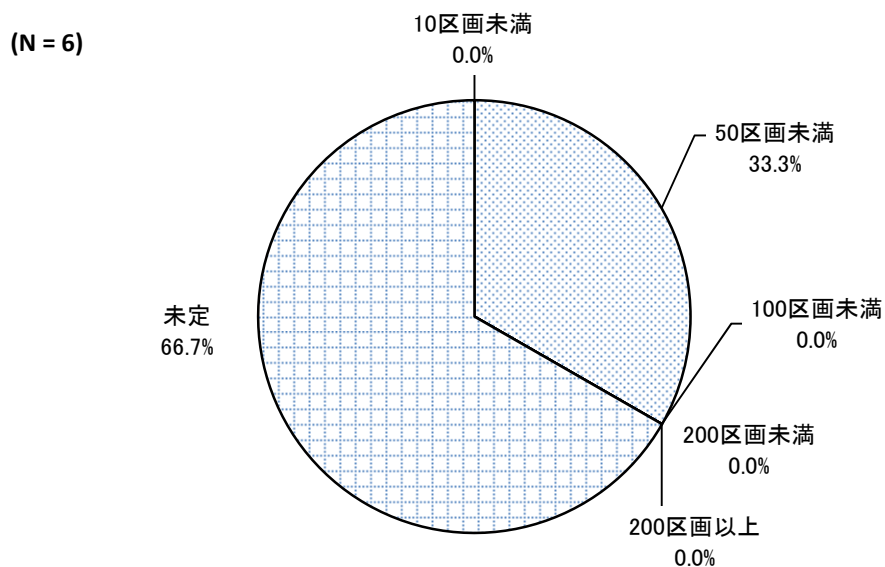


※拡張計画は墓地を所有している寺院が対象。新設計画は墓地を所有していない寺院が対象。

【「新設の計画がある」の区画数】

「新設の計画がある」の区画数については、「未定」が 66.7%、「50 区画未満」が 33.3%となっている。

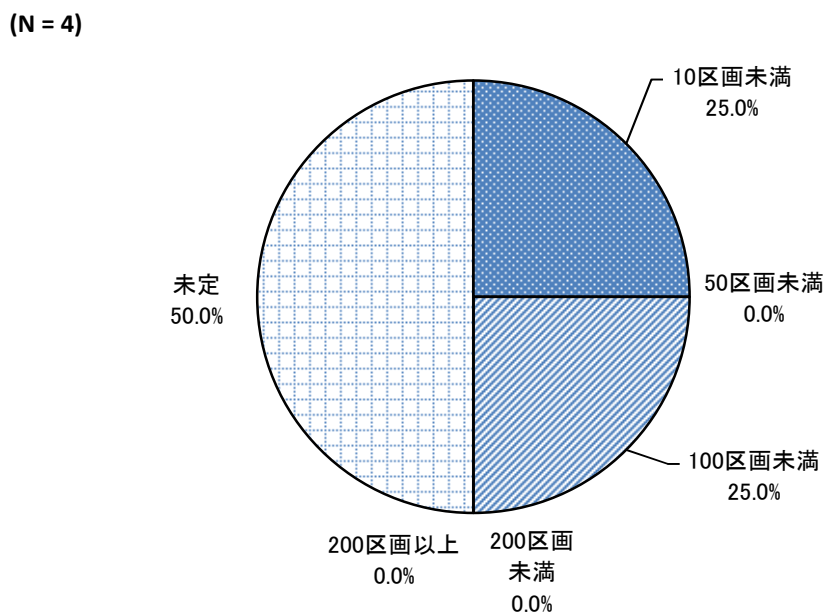
〔回答を得られた法人の新規計画の区画合計数は 30 区画〕



【「拡張の計画がある」の区画数】

「拡張の計画がある」の区画数については、「未定」が 50.0%、「10 区画未満」及び「100 区画未満」が 25.0%となっている。

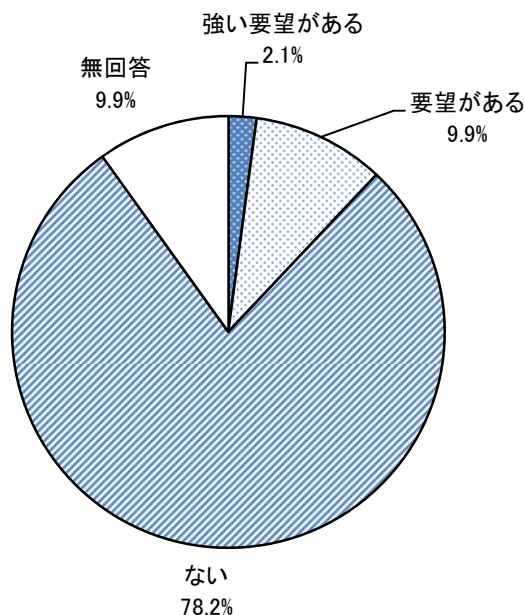
〔回答を得られた法人の拡張計画の区画合計数は 81 区画〕



問5. 信者の方から墓地の新設または拡張を要望されていますか。(〇はひとつだけ)

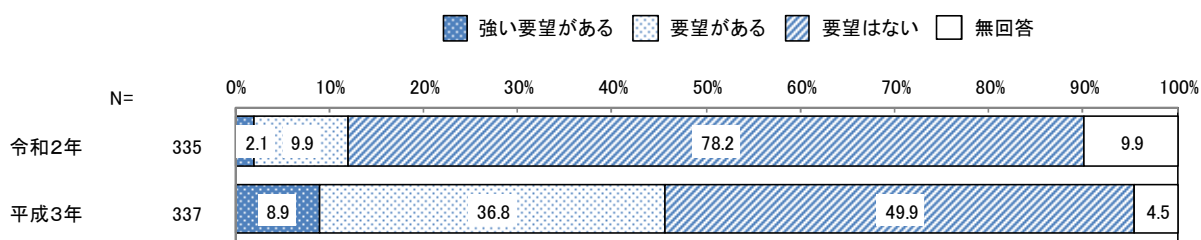
「要望はない」が78.2%と最も高く、次いで「要望がある」が9.9%、「強い要望がある」が2.1%となっている。

(N = 335)



【過去の調査結果との比較】

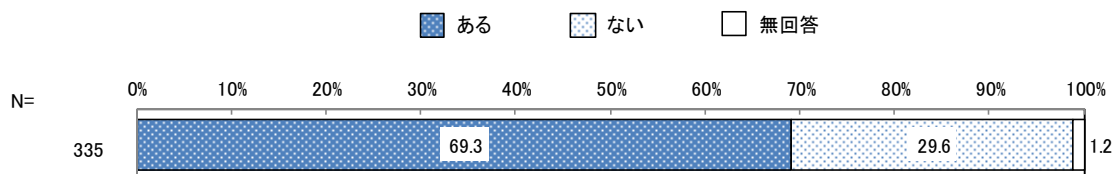
平成3年の調査結果と比較すると、「要望はない」が28.3ポイント増加している。一方で「強い要望がある」は6.8ポイント、「要望がある」は26.9ポイント減少している。



3-3 納骨堂について

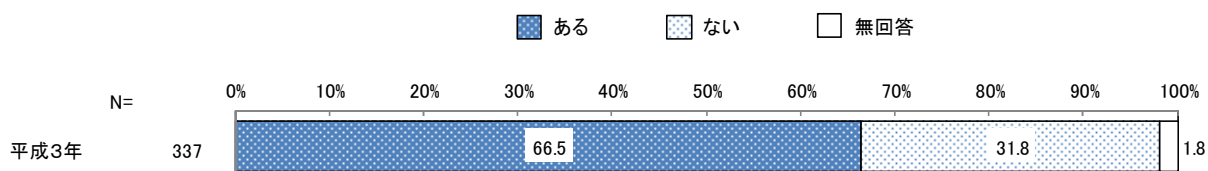
問6. 北九州市内に貴団体所有の納骨堂はありますか。(○はひとつだけ)

「ある」が69.3%、「ない」が29.6%となっている。



【参考:過去の調査結果】

平成3年に行った調査結果では、「ある」が66.5%、「ない」が31.8%となっている。

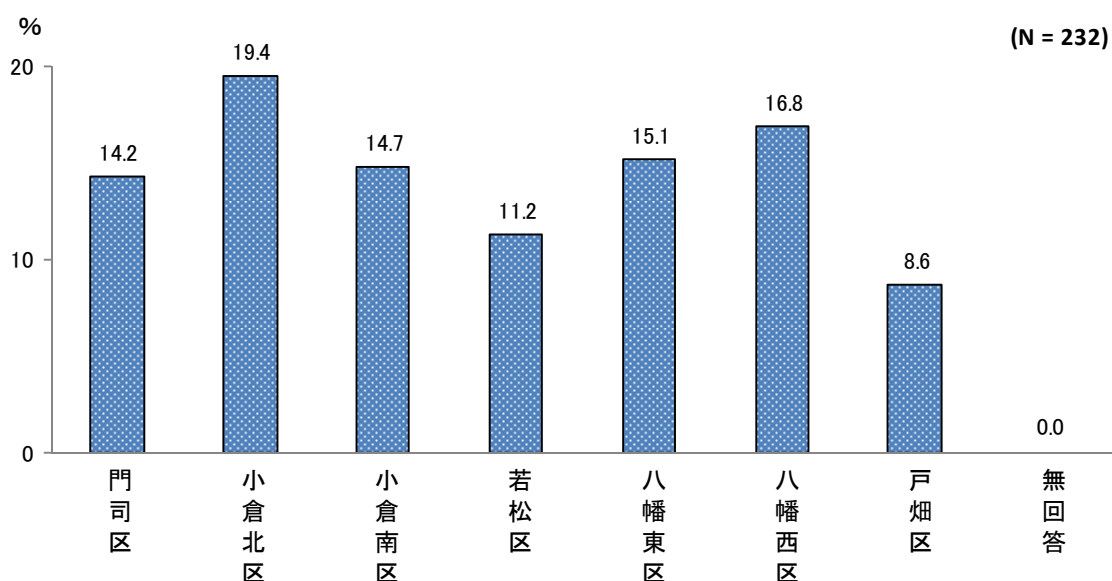


※平成3年調査では、市内・市外を問わず納骨堂の有無をたずねている。

ここからは、問6で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問6-1. その納骨堂はどこにありますか。(複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。)

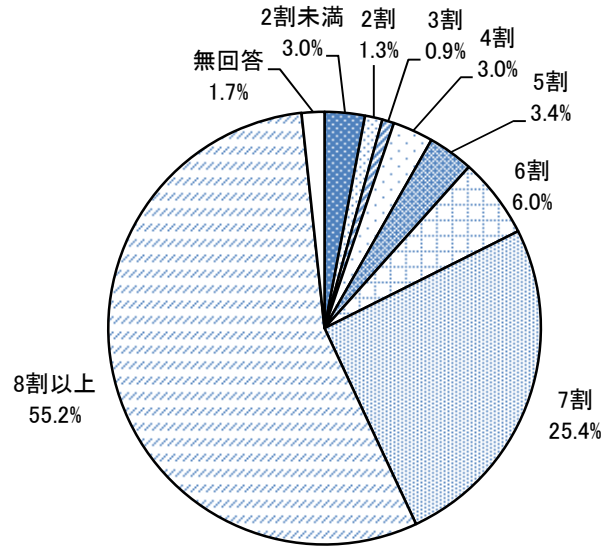
「小倉北区」が19.4%と最も高く、次いで「八幡西区」が16.8%、「八幡東区」が15.1%となっている。



問6-2. その納骨堂の利用者のうち、北九州市内の居住者はどのくらいの割合ですか。(〇はひとつだけ)

「8割以上」が55.2%と最も高く、次いで「7割」が25.4%、「6割」が6.0%となっている。

(N = 232)

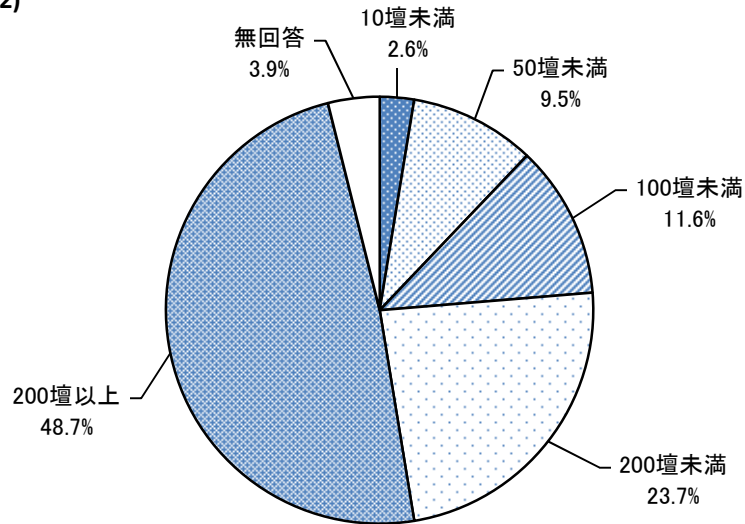


問6-3. 納骨堂は全部で何壇ありますか。

「200 壇以上」が 48.7%と最も高く、次いで「200 壇未満」が 23.7%、「100 壇未満」が 11.6%となっている。

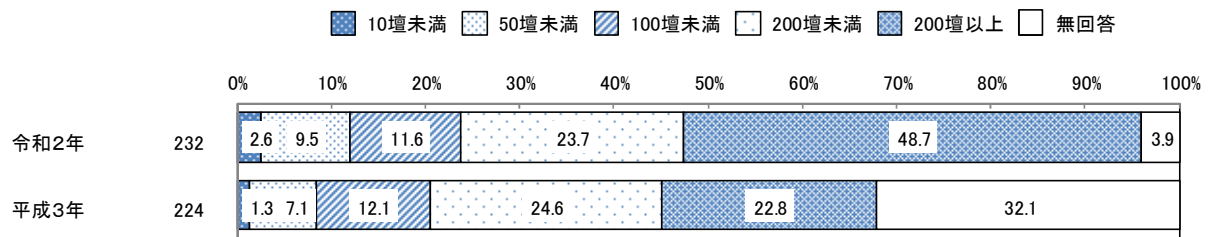
〔回答を得られた法人の所有する納骨堂の合計壇数は 62,293 壇〕

(N = 232)



【過去の調査結果との比較】

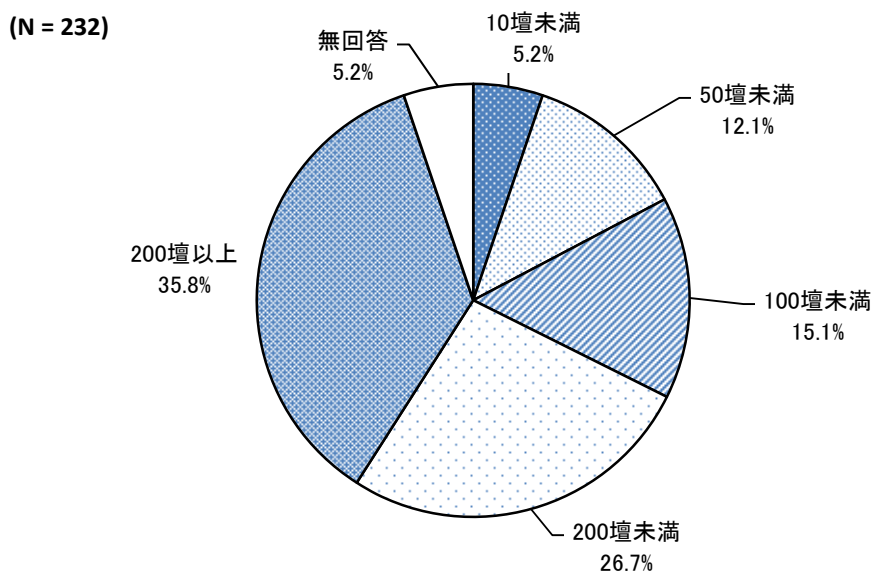
平成3年の調査結果と比較すると、「200 壇以上」が 25.9 ポイント増加している。



問6-4. 現在使用されているのは何壇ですか。

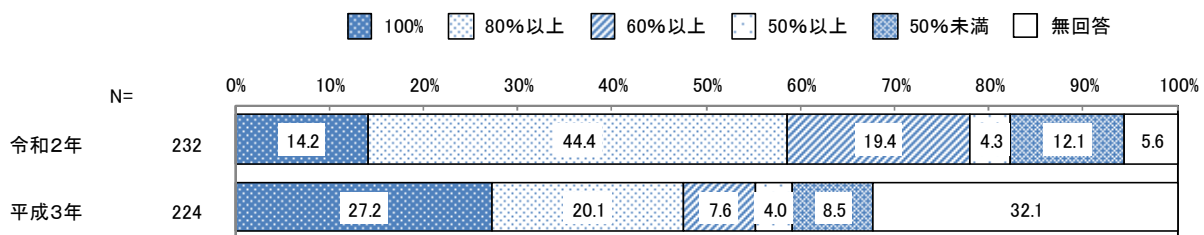
「200 壇以上」が 35.8%と最も高く、次いで「200 壇未満」が 26.7%、「100 壇未満」が 15.1%となっている。

〔回答を得られた法人の所有する納骨堂の使用合計壇数は 49,140 壇〕



【過去の調査結果との比較】

平成 3 年の調査結果と比較すると、「80%以上」は 24.3 ポイント、「60%以上」は 11.8 ポイント増加している。一方で「100%」は 13.0 ポイント減少している。



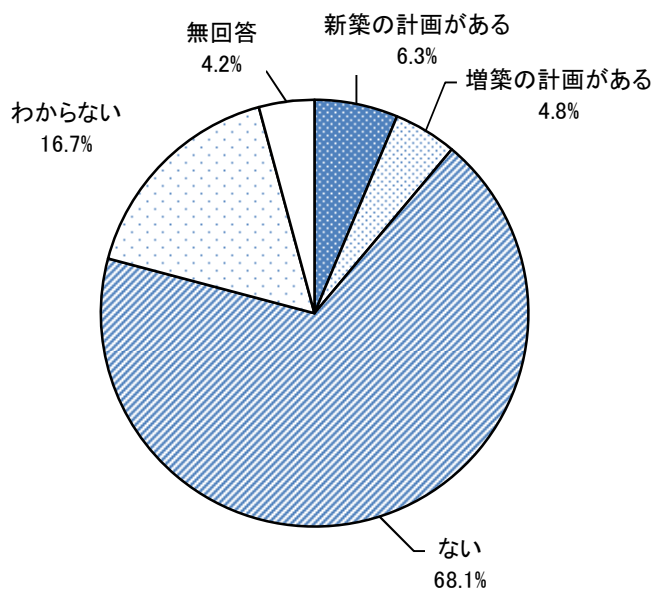
全員の方におたずねします。

問7. 北九州市内に納骨堂を新築または増築する計画はありますか。(○はひとつだけ)

※「ある」場合は壇数を、「ある」が規模が未定の場合は「未定」と()内に記入してください。

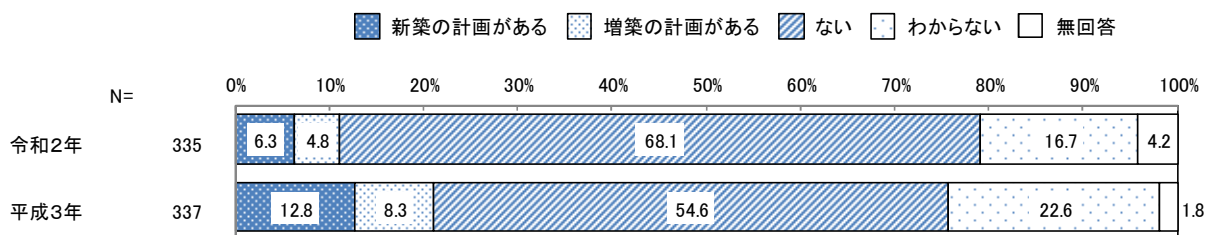
「ない」が 68.1%と最も高く、次いで「わからない」が 16.7%、「新築の計画がある」が 6.3%となっている。

(N = 335)



【過去の調査結果との比較】

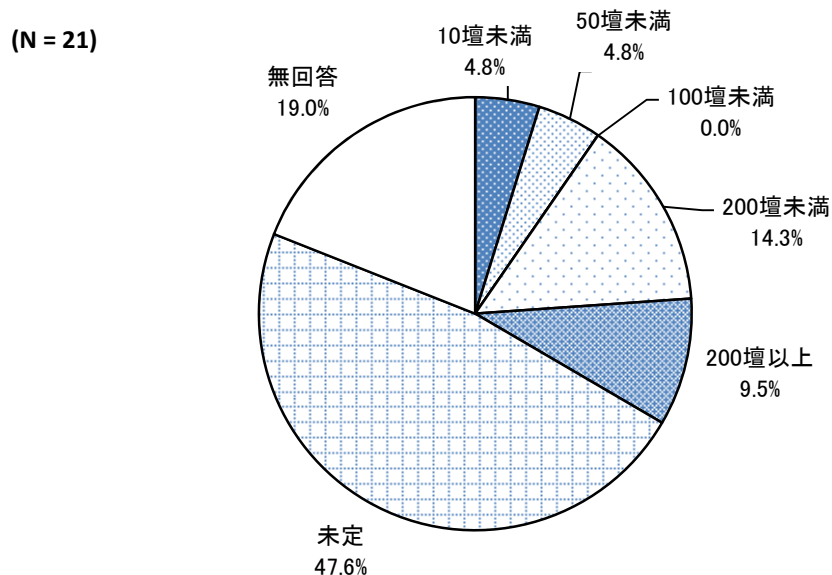
平成3年の調査結果と比較すると、「ない」が 13.5 ポイント増加している。一方で「新築の計画がある」は 6.5 ポイント減少している。



【「新築の計画がある」の壇数】

「新築の計画がある」の壇数については、「未定」が 47.6%と最も高く、次いで「200 壇未満」が 14.3%、「200 壇以上」が 9.5%となっている。

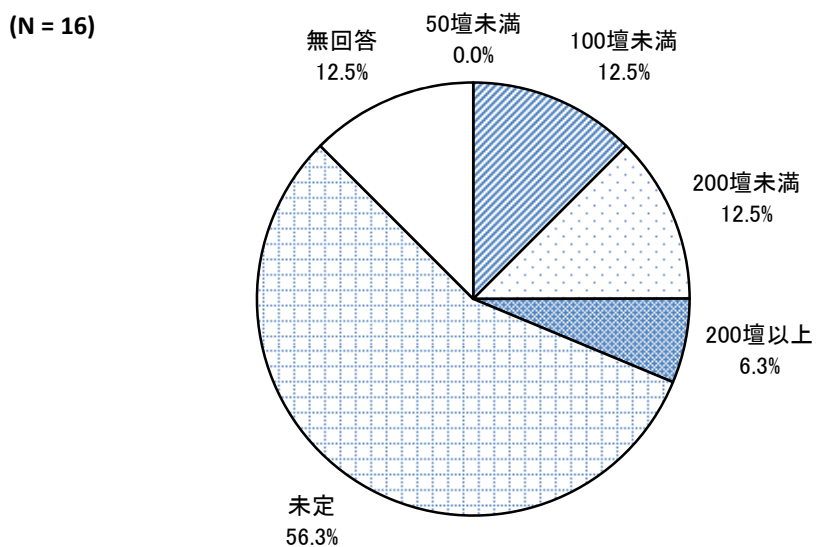
〔回答を得られた法人の新築計画の合計壇数は 827 壇〕



【「増築の計画がある」の壇数】

「増築の計画がある」の壇数については、「未定」が 56.3%と最も高く、次いで「100 壇未満」及び「200 壇未満」が 12.5%となっている。

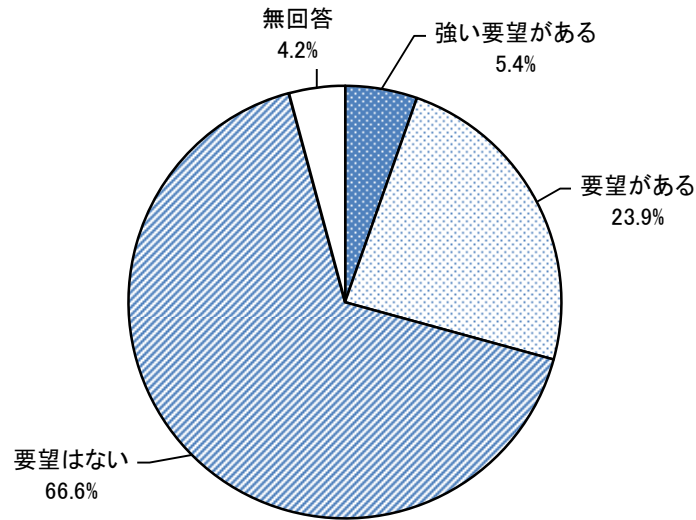
〔回答を得られた法人の増築計画の合計壇数は 558 壇〕



問8. 信者の方から納骨堂の新築または増築を要望されていますか。(〇はひとつだけ)

「要望はない」が66.6%と最も高く、次いで「要望がある」が23.9%、「強い要望がある」が5.4%となっている。

(N = 335)

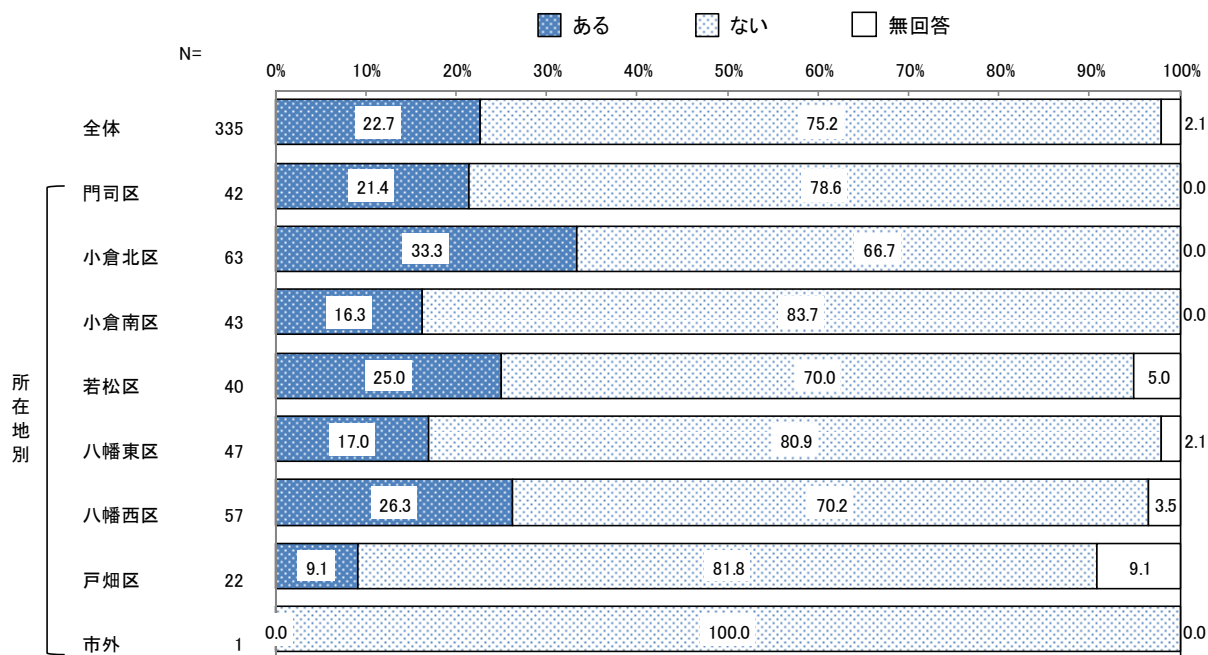


3-4 合葬墓について

問9. 北九州市内に貴団体所有の合葬墓(合葬式の共同墓)はありますか。(〇はひとつだけ)

全体では「ない」が75.2%、「ある」が22.7%となっている。

所在地別にみると、「ある」の割合は小倉北区が33.3%と最も高く、次いで八幡西区が26.3%、若松区が25.0%となっている。一方、戸畑区は9.1%と他の区に比べて低くなっている。

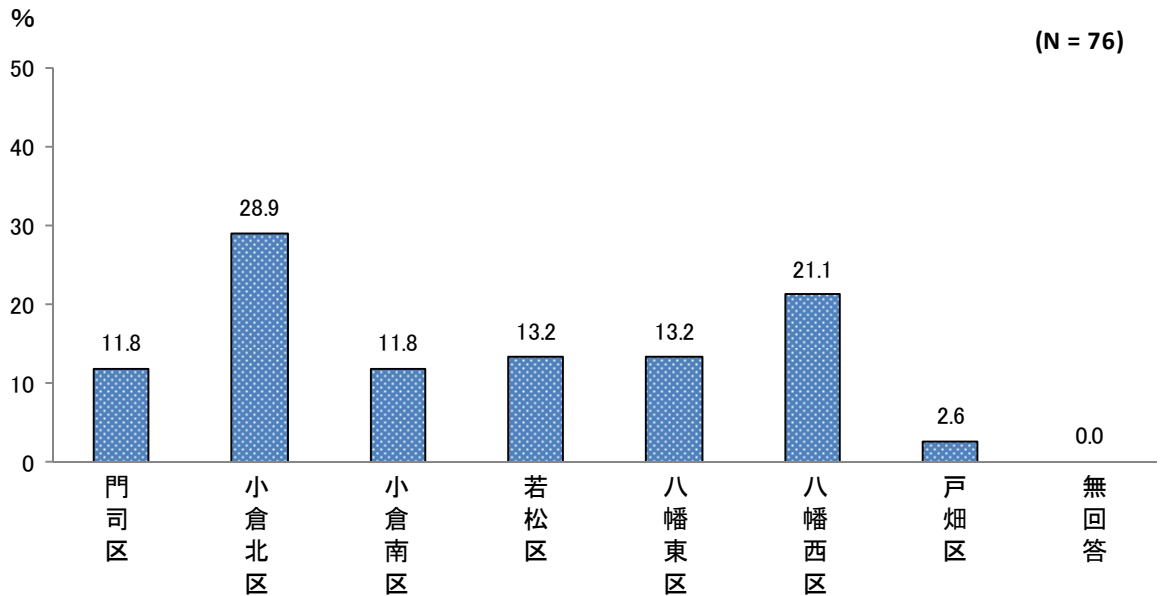


ここからは、問9で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問9-1. その合葬墓はどこにありますか。(複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。)

全体では「小倉北区」が28.9%と最も高く、次いで「八幡西区」が21.1%、「若松区」及び「八幡東区」が13.2%となっている。

所在地別にみると、団体の所在地と合葬墓の所在地はほとんど同じ区となっている。

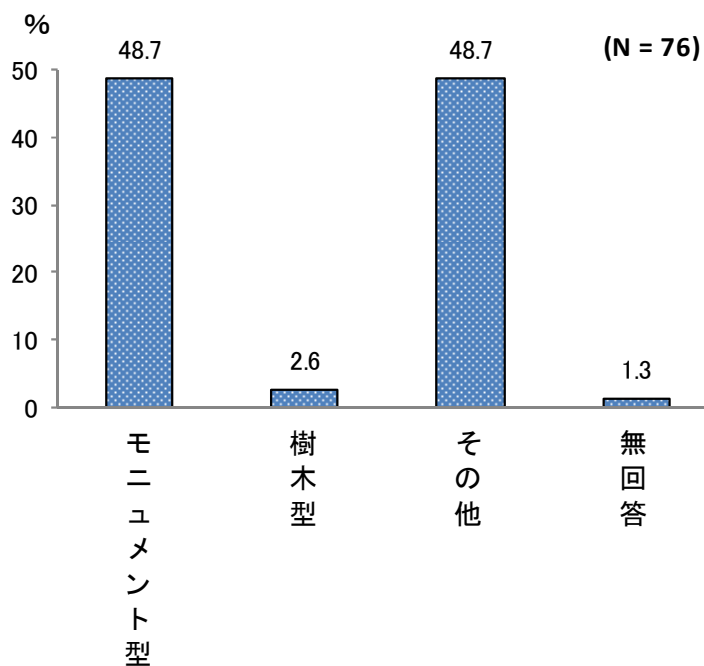


		全体	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	無回答
全体		76	9	22	9	10	10	16	2	0
		100.0	11.8	28.9	11.8	13.2	13.2	21.1	2.6	0.0
所在地	門司区	9	9	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小倉北区	21	0	21	0	0	1	0	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0
	小倉南区	7	0	0	7	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	若松区	10	0	0	0	10	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八幡東区	8	0	0	0	0	8	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
八幡西区	15	0	0	0	0	0	15	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
戸畑区	2	0	0	0	0	0	0	2	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問9-2. その合葬墓の形状はどのようなものですか。(複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。)

全体では「モニュメント型」及び「その他」が48.7%と最も高く、次いで「樹木型」が2.6%となっている。「その他」としては、「納骨堂内」や「合葬納骨堂」などの回答があった。

所在地別にみると、小倉北区と小倉南区では「モニュメント型」の割合がともに57.1%と比較的高くなっている。

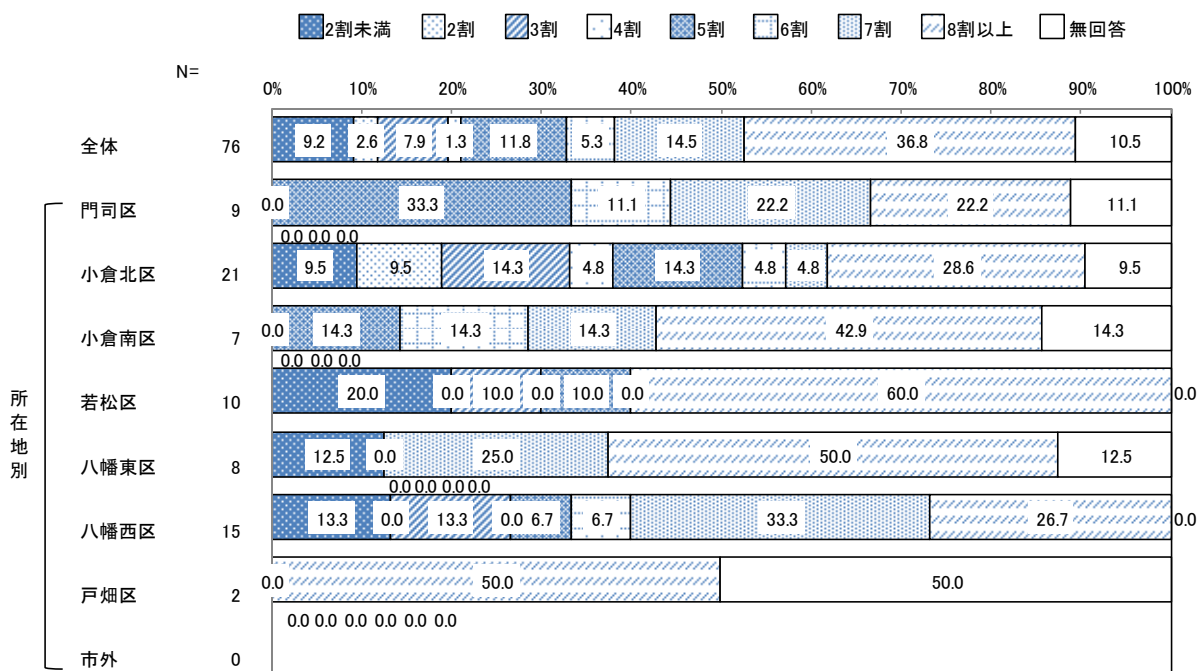


		全体	モニュメント型	樹木型	その他	無回答
全体		76 100.0	37 48.7	2 2.6	37 48.7	1 1.3
所在地	門司区	9 100.0	4 44.4	0 0.0	5 55.6	0 0.0
	小倉北区	21 100.0	12 57.1	0 0.0	9 42.9	0 0.0
	小倉南区	7 100.0	4 57.1	0 0.0	3 42.9	0 0.0
	若松区	10 100.0	5 50.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0
	八幡東区	8 100.0	4 50.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0
	八幡西区	15 100.0	5 33.3	1 6.7	9 60.0	1 6.7
	戸畑区	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	市外	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問9-3. その合葬墓の利用者のうち、北九州市内の居住者はどのくらいの割合ですか。(〇はひとつだけ)

全体では「8割以上」が36.8%と最も高く、次いで「7割」が14.5%、「5割」が11.8%となっている。

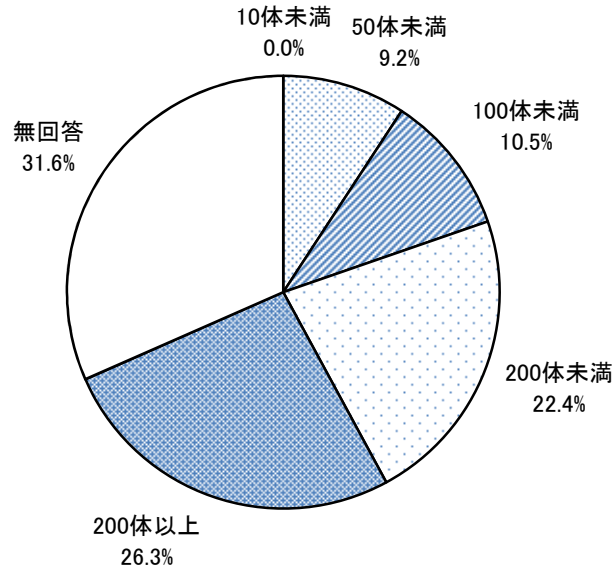
所在地別にみると、「8割以上」の割合は若松区が60.0%と最も高く、次いで八幡東区が50.0%、小倉南区が42.9%となっている。一方、門司区では22.2%と他の区に比べて低くなっている。



問9-4. 合葬墓の収容規模はどのくらいですか。

「200体以上」が26.3%と最も高く、次いで「200体未満」が22.4%、「100体未満」が10.5%となっている。

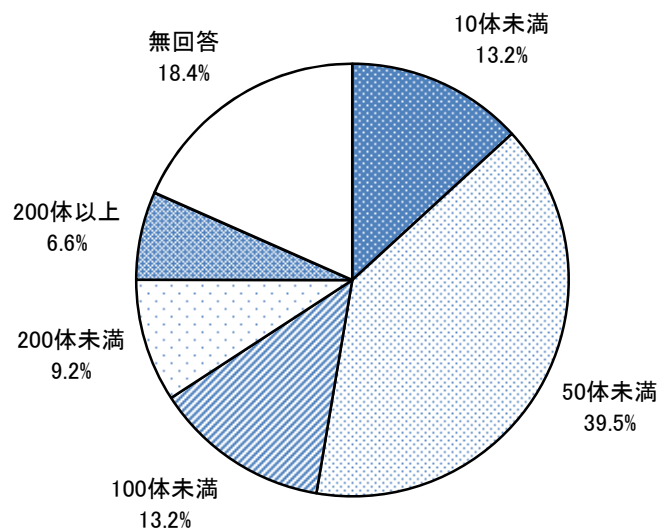
(N = 76)



問9-5. 現在収容されているのはどのくらいですか。

「50体未満」が39.5%と最も高く、次いで「10体未満」及び「100体未満」が13.2%となっている。

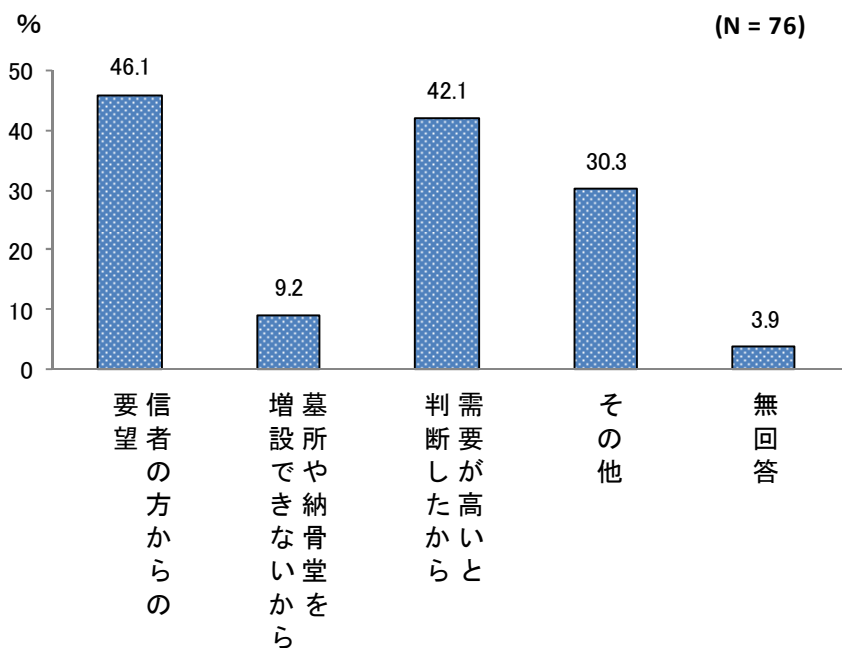
(N = 76)



問9-6. 合葬墓を設置した理由は何ですか。(複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。)

全体では「信者の方からの要望」が46.1%と最も高く、次いで「需要が高いと判断したから」が42.1%、「その他」として「無縁者への対応のため」や「墓じまいへの対応のため」などが30.3%となっている。

所在地別にみると、門司区では「信者の方からの要望」が55.6%、八幡東区では「需要が高いと判断したから」が62.5%とそれぞれ他の区に比べて高くなっている。



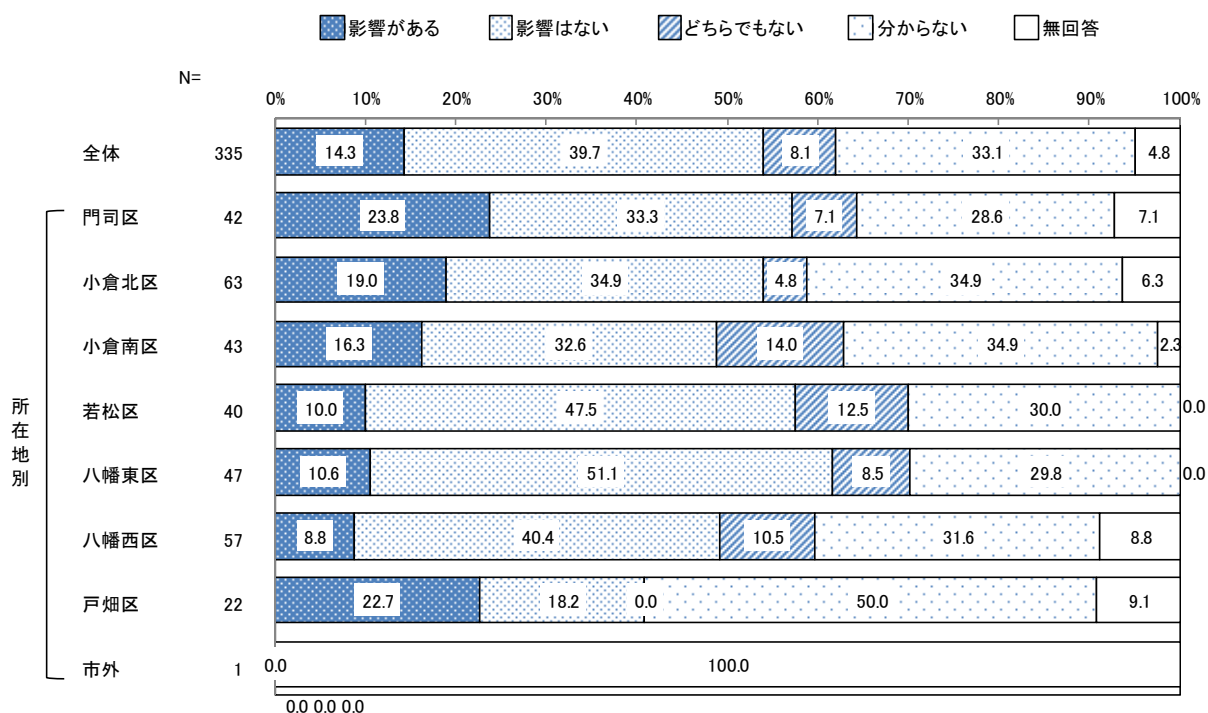
	全体	信者の方からの要望	墓所や納骨堂を増設できないから	需要が高いと判断したから	その他	無回答	
全体	76 100.0	35 46.1	7 9.2	32 42.1	23 30.3	3 3.9	
所在地	門司区	9 100.0	5 55.6	1 11.1	4 44.4	4 44.4	0 0.0
	小倉北区	21 100.0	9 42.9	1 4.8	7 33.3	6 28.6	2 9.5
	小倉南区	7 100.0	2 28.6	1 14.3	4 57.1	2 28.6	0 0.0
	若松区	10 100.0	5 50.0	1 10.0	4 40.0	3 30.0	0 0.0
	八幡東区	8 100.0	4 50.0	1 12.5	5 62.5	1 12.5	0 0.0
	八幡西区	15 100.0	6 40.0	2 13.3	6 40.0	7 46.7	0 0.0
	戸畑区	2 100.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	市外	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

全員の方におたずねします。

問10. 北九州市が公営の合葬墓を新設することになった場合、貴団体所有の霊園の運営に影響が生じると考えますか。(〇はひとつだけ)

全体では「影響はない」が39.7%と最も高く、次いで「分からない」が33.1%、「影響がある」が14.3%となっている。

所在地別にみると、「影響はない」の割合は八幡東区が51.1%と最も高く、次いで若松区が47.5%、八幡西区が40.4%となっている。一方、戸畑区は18.2%と他の区に比べて低くなっている。戸畑区では「わからない」が50.0%と、他の区に比べて高くなっている。



問10で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問10-1. どのような影響が生じると考えますか。ご自由にご記入ください

【檀信徒減・経済的損失】

- ・今までも市営の霊園が出来た事により、元々の檀信徒数が激減しました。宗教法人に対する墓地・納骨堂の新設・増設の厳しい制限を見直して下さい。市営の合葬墓については反対します。他市の様に、合葬墓のみにかかわらず、埋葬の仕様・運営を宗教法人に任せただければ幸いです。
- ・管理費などの金額によっては運営に支障が出る団体が発生するから。
- ・檀家が離檀し、法人の運営が現状よりも難しくなる。
- ・寺院としての存続が不可能となる。
- ・ご門徒の納骨堂希望者が減り、維持が出来ない。

【宗教意識の希薄化】

- ・今以上に、宗教に対する感覚が薄れていく。簡単に合葬が出来ることがわかれば法事を勤めない家族が増え、家族の集まることの出来る大切な縁を減らしてしまう。厳しい条件を付け、合葬許可を出すべき。
- ・合葬、散骨が普及すると、遺族の責任感や、故人を偲ぶ気持ちが生まれにくく、地縁や血縁、宗教を軽視する考えが広がる。(当寺院の合同墓に納骨した遺骨は、ほとんどが置きざりにされたり、身内が放棄したものが多かった。)
- ・門徒が離れる。墓・納骨堂の契約を結ばない。→法事もしない。→寺離れ→祖先の有難さを感じない→核家族化が進み都会に出ていく。
- ・現在葬儀も行わない事例も増えています。子供が、親をみることすらしない、事例も少なくない。先祖を、自分たちで、守る意識をもって、それを継承することが、現代の家族のありかたを(子が親をみる)本来の形にもどすものであると思います。(寺が存在できなくなると檀家が先祖を守る場所を失う)→行政(市)に負担がかかると思います。

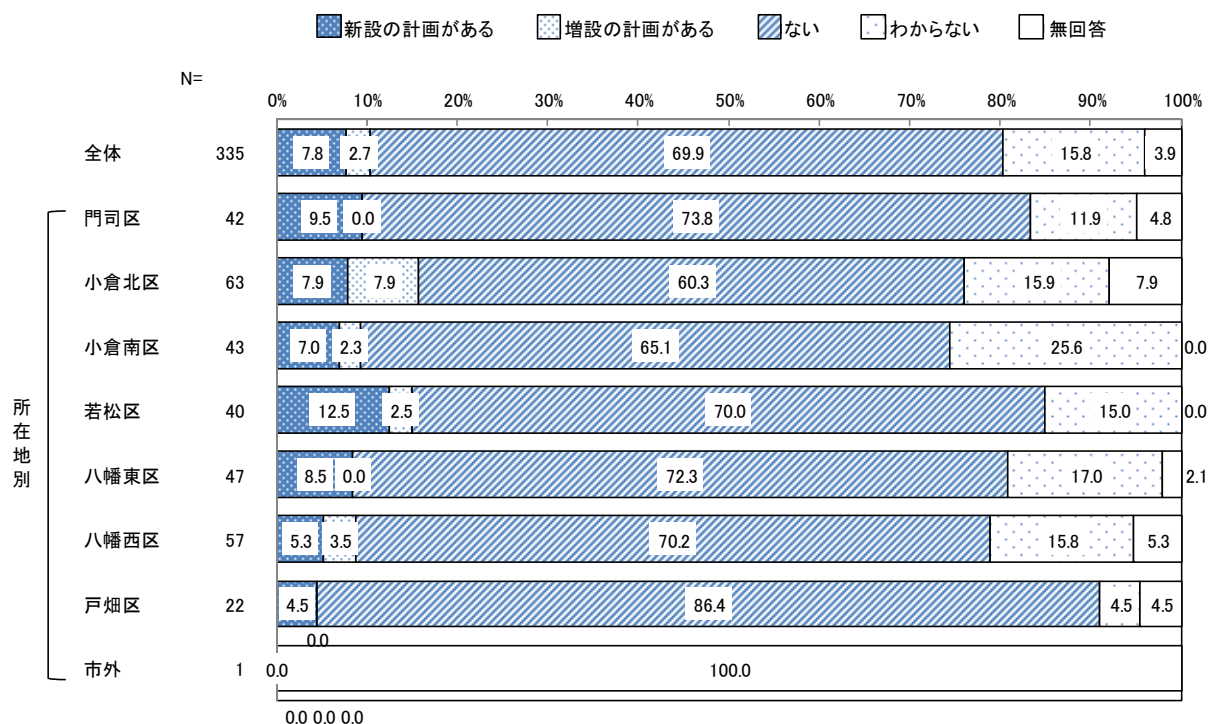
全員の方におたずねします。

問11. 北九州市内に合葬墓を新設または増設する計画はありますか。(〇はひとつだけ)

※「ある」場合は収容規模を、「ある」が規模が未定の場合は「未定」と()内に記入してください。

全体では「ない」が 69.9%と最も高く、次いで「わからない」が 15.8%、「新設の計画がある」が 7.8%となっている。

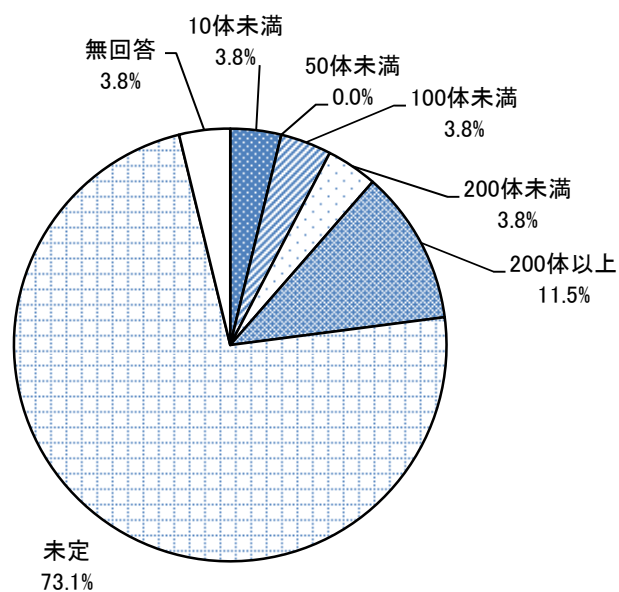
所在地別にみると、すべての区で「ない」の割合が他の項目を大きく上回り、6割以上となっている。戸畑区では「ない」が 86.4%と他の区に比べて高くなっている。



【「新設の計画がある」場合の規模】

「未定」が73.1%と最も高く、次いで「200体以上」が11.5%となっている。

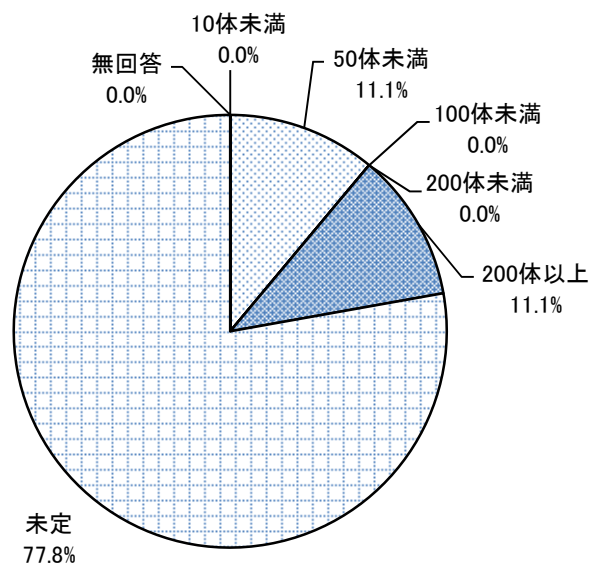
(N = 26)



【「増設の計画がある」場合の規模】

「未定」が77.8%と最も高く、次いで「50体未満」及び「200体以上」が11.1%となっている。

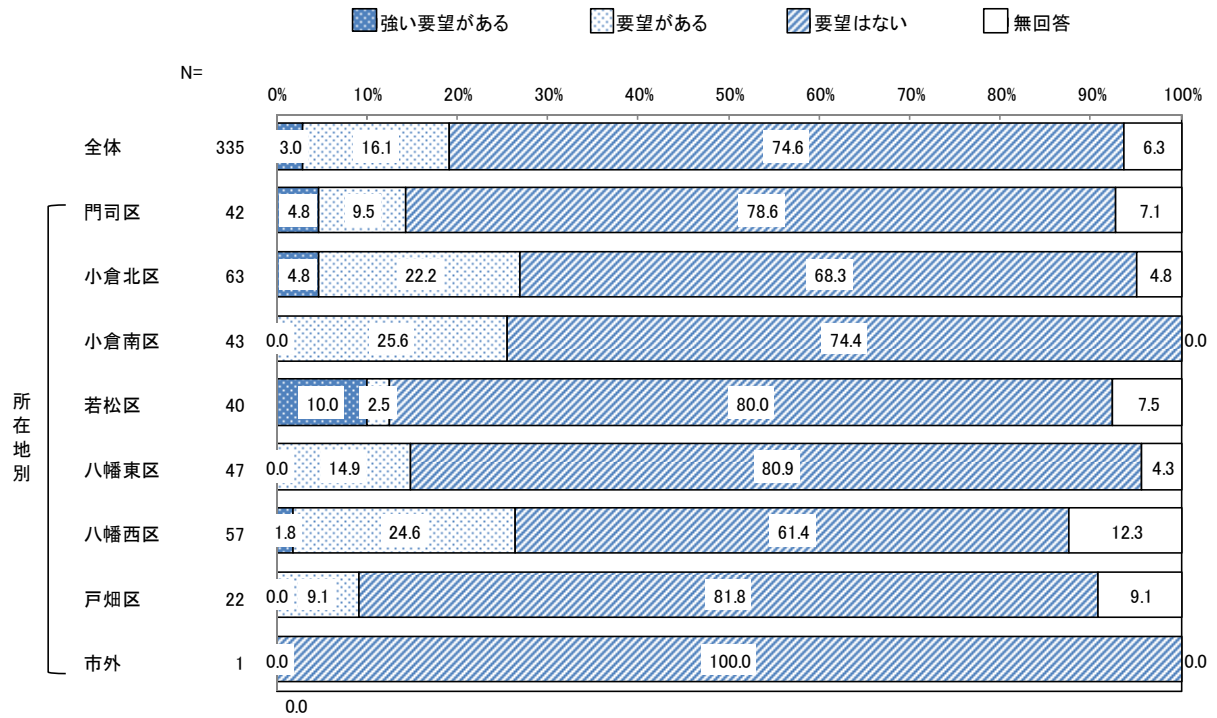
(N = 9)



問12. 信者の方から合葬墓の新設または増設を要望されていますか。(○はひとつだけ)

全体では「要望はない」が74.6%を占め、「要望がある」が16.1%、「強い要望がある」が3.0%となっている。

所在地別にみると、すべての区で「要望はない」の割合が他の項目を大きく上回っている。若松区では「強い要望がある」が10.0%と他の区に比べて高くなっている。



問13. 墓地、納骨堂、合葬墓の設置・管理に関する課題、ご意見、ご要望等がございましたら、何でも結構ですから自由にご記入ください。

- ・代々が同じ場所に住むという時代でなくなったので、お墓のあり方は変わっていくと思う。合祀墓も後継者の不在などで要望は高まっていくと思う。
- ・私共は寺なので、信徒と古くからのご縁を大切にしていきたいと考えています。ご遺骨を「処分する」という考えではなく、ご先祖を大切に下さるように、話し合っ、運営しています。納骨堂が家族の礎となる存在であり続けられるよう、寺としては、伝統を守り続けたいと考えています。
- ・身寄りのない方が孤独死した場合、行政により火葬、合葬されていると思いますが、孤独死した方の家に先立たれた方の遺骨が残されていたり、夜逃げ等した方の放置物の中に遺骨があった場合、その処理については、現場の方々の善意や努力によって合葬されたり、寺院に預けられているのが現状かと思ひます。その様な遺骨についても行政で合葬等出来ないものではないでしょうか？
- ・教会で納骨堂をもつのが望ましいとは思ひますが、費用、設置の条件等を考えると、作りたくても作れない、というのが、(小さな宗教法人は)現状なのではないでしょうか。市営で納骨堂や合葬墓を作るのは、費用がおさえられるのであれば、市民には歓迎されるものと思ひます。
- ・市営の墓地、納骨堂は冥加金が少ないので私共の様な小さな一般寺院への加入が減ります。市営の墓地、納骨堂はこれ以上作って欲しくないです。
- ・市営の大規模な納骨堂を造って下さい。
- ・北九州市立の合葬墓の建設は、反対いたします。合葬墓と言へば、言葉の響きはいいのですが、現実の問題としては、亡き骸の処分でしかないからです。
- ・これからは寺院といへども跡継ぎ等の問題で墓所の管理者がいなくなる(無住の寺が増える)と考えられる。宗教法人として、近々にむかえる問題であり苦慮している。
- ・宗教法人が運営する墓地・納骨堂については、信仰が目的であるべきで「宗派問はず」などの営利目的の経営にならない様に監督して欲しい。
- ・民間業社経営(宗教法人の名義貸し的な)の墓地が「永代預り・維持費不用」などと宣伝広告しているが、自転車操業的で、本当に永続運営出来るのか甚だ心配です。そう言う意味では安心して預ける事の出来る市営の墓地増設は必要とも思ひます。宗教法人の運営が厳しくならない様、又、商売目的の巨大納骨堂などがはびこらない様、大切にご検討ください。
- ・納骨堂型合葬墓(永代)を、寺に設置することを計画しております。(理由)子供の代になり関東、関西に在住しているが、ふる里(菩提寺)に帰る、きっかけにしたい。寺であれば、毎日のおつとめとして供養してさしあげることが出来る。